

女性保育者のライフコース展望の実態とその影響要因の検討

児童スポーツ教育学部

教授 若尾 良徳

2026.05

概要

本研究は、2020年代の未婚女性保育者のライフコース展望の実態と関連要因を明らかにするため、全国の幼稚園・保育所・認定こども園勤務の保育者にWeb調査を実施し、未婚女性448名を分析した。ライフコースの希望は「自分のタイミング／ある程度の年数で退職」が過半数で、定年まで・結婚・出産退職はいずれも約2割であった。2010年代調査との比較では、結婚・出産退職や家事・育児専念が減少し、私立園では定年まで継続希望が増加した。多項ロジスティック回帰の結果、妊娠・出産の困難、低評価・低成長のイメージ、勤務時間の融通、年収、女性の職業への賛成等が展望に有意に関連した。柔軟な勤務設計と処遇改善、現実的なキャリア情報の提供が、結婚・出産後の就業継続を促進することが示唆された。

論文情報

掲載誌：乳幼児教育・保育者養成研究 第6号 pp.69-81

タイトル：女性保育者のライフコース展望の実態とその影響要因の検討

著者名：若尾 良徳